

はじめに



人生 100 年時代を迎え、健康に対する意識も年々高まってきているなかで、病気や障害の有無に関わらず、健やかに生きがいを持ち生活できることは、誰もが願うことです。

わが国の平均寿命は、医療技術の進歩や生活環境の改善等により延伸している一方、加齢による心身の活力の低下や生活機能障害が生じるフレイルや、認知症、寝たきりなどにより介護が必要となる人は増加しており、その対策は急務となっています。健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間、いわゆる健康寿命の延伸は、今後、なお一層必要となってきます。

本市では、「岡山市第六次総合計画」において、「住み慣れた地域で安心して暮らせる健康・福祉のまちづくり」を都市づくりの基本方向の一つに位置づけ、健康寿命の延伸に向けた健康づくりの推進に取り組んでいるところです。

平成 15 年に「健康市民おかやま 2 1」、平成 25 年に「健康市民おかやま 2 1（第 2 次）」を策定し、約 20 年にわたって地域、医療・介護などをはじめとする各種団体、行政等が連携し、地域全体で健康づくりに取り組む体制整備を行い、市民の健康づくり活動を推進しており、着実に成果を挙げています。

このたび、「健康市民おかやま 2 1（第 2 次）」に基づく取組の分析・評価を行うとともに、市民・関係組織・団体の方々のご意見を反映しつつ、次の 12 年を展望し「すべての市民が健康で、心豊かに生活できる持続可能なまち」の実現を目指した「健康市民おかやま 2 1（第 3 次）」を策定いたしました。

今後、本計画に基づき、これまでどおり市民一人ひとりが主体的に健康づくりを進めるとともに、健康に関心が薄い人や関心があっても取り組むことが難しい人も自然に健康になれる環境づくりを多様な主体とともに進め、岡山市らしい健康づくり活動のさらなる推進に全力で取り組んでまいりたい所存です。

終わりにになりましたが、本計画の策定にあたり、健康市民おかやま 2 1 推進会議委員をはじめ関係各位に貴重なご意見をいただきましたことを心から感謝申し上げますとともに、今後も一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

令和6年3月

岡山市長 大 森 雅 夫